

Blitzen Times

Vol. 105
July.2026



Race Report

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 2026.6.06 | 全日本選手権個人タイムトライアル |
| 2026.6.07 | JBCF 石川ロードレース |
| 2026.6.14 | MTB Coupe du Japon 白山一里野 XCO |
| 2026.6.28 | 全日本選手権ロードレース |
| 2026.7.05 | JBCF 大町温泉郷ロードレース |
| 2026.7.05 | MTB Coupe du Japon 福島檜山高原 XCO |

全日本タイムトライアル、 宮崎で挑む4人の奮闘

宮崎県・ツ葉有料道路で行われた全日本選手権個人タイムトライアル。Astemo 宇都宮ブリッツェンからはU23とエリート合わせて4選手が出場し、難しいコンディションの中で持ち味を発揮した。



U23 難コースで粘走

男子U23には宮野蒼羅と秋元碧が出場した。初開催となる宮崎のコースは、有料道路を使用する特性上、選手たちは当日までコース試走を行うことができず、さらに風の影響も受けやすい難しいレイアウトだった。

それでも2人は落ち着いてスタートし、序盤から無理のないリズムを作りながら、ひとつずつ区間を重ねていった。菅野は安定した高回転を維持し、後半に入っても大きく崩れることなくフィニッシュ。秋元も持久力を生かした走りで見え、最後まで集中を切らずに走り切った。

結果はともにトップ10入り。表彰台には届かなかったものの、全国トップレベルの舞台で自分たちの力を示し、今後へ向けた手応えをつかむ一戦となった。慣れないコース条件の中でも冷静に状況を見極め、それぞれの持ち味を発揮して走り切ったことは大きな収穫だった。

エリート、攻めの走り

男子エリートでは岡篤志と宮崎泰史がレースに臨んだ。宮崎はツアー・オブ・ジャパン明けで疲労が残る中でも、スタート直後から積極的に踏み込み、攻めの姿勢を最後まで貫いた。厳しい条件下でも出し切る走りを見せ、4位でレースを終えた。岡も序盤から丁寧なペースを整えつつ、要所ではしっかりと踏み直し、終盤まで粘り強く走行。8位でフィニッシュした。

エリートの争いは一瞬の判断や出力の差が結果に直結する厳しい舞台だが、その中で両選手がそれぞれの持ち味を発揮し、チームとしても収穫の多い大会となった。宮崎の積極的な走りは序盤からレースに勢いをもたらし、岡も安定したペース配分で最後まで大きく崩れることなく走り切った。

初開催の難コースに的確に対応しながら、両者とも終盤まで集中を切らずに力を尽くした点は大きな収穫だった。悔しさを残す部分はあっても、積み上げてきた準備と走りの質は全国トップレベルの争いの中で確かな存在感を示した。



岡、全日本ロードレースで 表彰台獲得

新潟県南魚沼市の三国川ダム周回コースで行われた全日本選手権ロードレース男子エリート。Astemo 宇都宮ブリッツェンは6名で出場し、厳しい展開の中で岡篤志が3位表彰台をつかんだ。

Digest movie



序盤から主導権をめぐる厳しい争い

男子エリートは12キロ×15周の180キロで争われ、127人が出走した。Astemo 宇都宮ブリッツェンは谷順成、増田成幸、沢田時、岡篤志、武山晃輔、宮崎泰史の6名で挑み、集団前方で展開を見ながらレースを進めた。コースは上りと下りが繰り返される厳しい設定で、位置取りひとつで消耗度が大きく変わる。各選手は無駄な動きを抑えつつ、序盤のアタック合戦を冷静にやり過ごした。

勝負を左右した終盤の動き

レース中盤から徐々に選手が絞られ、終盤に入ると先頭グループの構成も大きく変化した。留目太陽選手（愛三工業レーシングチーム）が単独で抜け出し、後続との差を広げると、ブリッツェン勢はその背後で追走集団の動きを見極めながら、スプリント勝負へ備えた。途中には難しい展開もあったが、岡を中心に最後まで集中を切らさず、上位争いへ食いついていった。長いレースの中で、判断の速さと粘り強さが問われる場面が続いた。

岡が粘り切って3位表彰台を獲得

最終的には留目選手が独走で優勝し、2位争いの後ろで岡が粘り切って3位に入った。さらに谷も5位でゴールし、チームとして複数選手が上位に名を連ねたことは収穫となった。ブリッツェンにとって全日本の目標は優勝であり、その意味では届かなかった悔しさが残る一方、表彰台をつかんだ岡の走りは次へつながる大きな一歩となった。長いレースを通して示した攻めの姿勢は、今後の挑戦へ向けた確かな材料となった。最後まで諦めずに攻め続けた岡と、要所で存在感を示した谷の走りは、チームの戦い方を象徴するものだった。全日本タイトルには届かなかったが、厳しい展開の中で積み上げてきた準備と連携の質を示し、これからの大一番に向けて貴重な経験値を得るレースとなった。



石川ロードレース、 岡が2位で総合首位守る

福島県石川町・浅川町周回コースで行われた石川ロードレース。
Astemo宇都宮ブリッツェンは6名で出場し、終盤まで積極的
に動きながら、岡篤志が2位でフィニッシュ。リーダージャージ
を守った。

序盤から前方で展開

石川ロードレースは、13.6キロ×10周の136
キロで争われた。Astemo宇都宮ブリッツェンは谷順
成、増田成幸、フォン・チュンカイ、沢田時、岡篤志、
武山晃輔の6名で出場し、序盤から集団前方で落ち着
いてレースを進めた。岡は前日に全日本選手権の個人
タイムトライアルを走ってからの連戦だったが、コン
ディションを整えてこの一戦に臨んだ。

谷の逃げと増田の存在感

レースは橋本英也選手（弱虫ペダルサイクリング
チーム）の先行から始まり、やがて大山航平選手（イ
ナメ信濃山形）が単独で抜け出す展開へ。集団が再
び振り出しに戻ると、4周目完了手前で谷順成が高橋
駿斗選手（群馬マンモスレーシング）とともに先行し、
さらに佐藤愛析選手（シエルブルー鹿屋）が合流して
3人の逃げ集団が形成された。谷は厳しいアップダウ
ンの中でも粘り強く前を走り、チームに流れを呼び込
んだ。

その後、レース後半にかけては増田成幸がベテラン

らしい落ち着いた走り存在感を示し、会場を沸かせ
る場面もあった。残り1周に入ると単独で動き、優勝
争いに加わるのではないかと期待を抱かせる走り
を見せた。最後まで勝負どころを探る姿勢を崩さず、
チーム全体に勢いを与えた。

岡が2位で首位を維持

終盤はアタック合戦の末に集団が再びまとまり、最
後はスプリント勝負へ。孫崎大樹選手（ウィクトワ
ール広島）が優勝をさらい、岡はその後ろで2位に入っ
た。谷も7位でまとめ、増田やフォン、武山、沢田も
それぞれ役割を果たした。

ブリッツェンにとっては、どんな展開でも勝負でき
る力を示した一戦だった一方、岡はリーダージャージ
を守りながらも勝利には届かず、悔しさを残した。石
川で得た手応えを、次の大一番へどうつなげるかが問
われるレースとなった。





大町温泉郷ロードレース、 武山が表彰台獲得

初開催となった大町温泉郷ロードレース。Astemo宇都宮ブリッツェンは序盤から積極的に動き、武山晃輔が3位表彰台、菅野蒼羅が6位敢闘賞を獲得した。



序盤から動いたブリッツェン

前半戦の締めくくりとなる大町温泉郷ロードレースは、長野県大町市の公道特設コースで行われた。Astemo宇都宮ブリッツェンは谷順成、増田成幸、岡篤志、武山晃輔、菅野蒼羅、阿藤来夢、秋元碧の7名で出場。初開催のコースは上りと下りが続く難しい設定だったが、チームはスタート直後から前方でレースを進め、流れを見ながら勝負どころを探った。

逃げに乗った若手がチームに勢いをもたらす

レース序盤、風間翔真選手（シモノレーシング）の先行から展開が動き、続く2周目には森本凜太郎選手（ヴェロリアン松山）がアタック。ここに菅野と武山がうまく反応し、先頭グループ形成に加わった。若手2人の動きはチームに勢いをもたらし、集団内の警戒も引き出した。菅野はその後も積極的にアタックを仕掛け、レースを活性化させながら6位でフィニッシュ。敢闘賞も獲得し、初開催の舞台で存在感を示した。

武山が3位でフィニッシュ

勝負は先頭集団のスプリントに持ち込まれ、武山が最後まで粘って3位表彰台を獲得した。優勝には届かなかったものの、逃げに2名を送り込んだ攻めの走りは、チームの狙いを体現する内容だった。岡は後方集団で11位、谷は24位、増田は31位でフィニッシュし、それぞれが持ち場で力を出した。前半戦の締めくくりとして、収穫と課題の両方が見えた一戦となった。初開催ならではの難しさがある中でも、チームは逃げと追走の両方で存在感を示し、レースを通して積極性を貫いた。

レースを通じて、選手たちはそれぞれの役割を果たしながら、チームとしての戦い方を確認することができた。結果以上に、厳しい条件の中で積み重ねた動きや判断が、今後のレース運びに生きてくるはずだ。小さな積み上げのひとつひとつが、シーズン後半の勝負どころで大きな差となって表れてくる。その意味でも、今回の一日には確かな価値があったと言えるだろう。

沢田、白山二里野を制して3連勝

Coupe du Japon MTB 白山二里野大会XCO男子エリート
 トプ Astemo 宇都宮ブリッツェンの沢田時が優勝。終盤の上
 りでライバルを振り切り、同大会3連勝を達成した。



スタート直後から先頭争いを演じる

白山一里野温泉スキー場特設コースで行われた男子エリートXCOは、1周3・9キロを8周する31・2キロで争われた。沢田時は前日のXCCを峰にさされた影響でDNSとなったが、回復してこの日のXCOに臨んだ。スタートは2列目からだったものの、直後に先頭へ上がり、序盤から野奇然新選手（Grawe THE RACING）との一騎打ちの形を作った。初手から高い集中力を見せ、レースの主導権を握る走りを展開した。

中盤も主導権を譲らない攻防

1周目を終えた段階で、沢田と野奇選手が先頭バックを形成。後方から高橋翔選手（Grawe THE RACING）や松本一成選手（ハイファイブレーシング／ホンダカーズ群馬）が追い上げる場面もあったが、レースの流れはこの2人を中心に進んだ。沢田は自ら仕掛けるタイミングを探りながら、相手の動きにも冷静に対応。コースのアップダウンを利用して脚をため、勝負どころに向けて余力を残す走りを見せた。

終盤の上りでライバルを振り切る

勝負が動いたのは6周目。沢田が得意の上り区間でペースを上げ、野奇選手を引き離すことに成功した。一度は差を詰められたものの、最終周回で再びアタックを決め、今度は追いつかせなかった。最後はリードを広げたままフィニッシュラインを通過し、見事に優勝。同大会3連勝を達成した。

起伏の大きいコースでラップを重ねるMTBレースは、ライン取りや細かなバイクコントロールが勝負を分ける世界でもある。沢田はそうした要素を高い次元でそろえ、速さと安定感を兼ね備えた走りでもレースを支配してみせた。難しいセクションが続く中でも、観客の目前で何度も力強い走りを披露し、会場を大いに沸かせた。マウンテンバイクシーンでも確かな存在感を示した今回の勝利は、今後のシリーズ戦に向けても弾みとなるものだ。全日本選手権へ向けても弾みとなる、強さの光るレースだった。

沢田、福島檜山で4位に食い込む

前日の好走を追いつ風に臨んだAstemo宇都宮ブリッツェンの沢田時。上位争いに加わって粘りを見せたが、レース後には悔しさをにじませる一戦となった。

前日の勢いをそのままに

沢田時は前日のXCCで副島達海選手（TRKWORK）に次ぐ2位に入り、この日は倍以上の距離を走るUCIレースとして臨んだ。スタート後は速いペースの中で先頭争いに加わり、早い段階から野々新選手（drawer THE RACING）、副島達海選手らとともにレースを作った。短いレースで見せた鋭さを、そのまま長い距離でも発揮しようとする走りだった。

中盤も主導権を譲らない攻防

レース中盤も沢田は上位グループで展開。ライバルたちが細かく動く中でも、大きく開れることなく食らいつき、勝負の流れを切らさなかった。後方との差が徐々に広がるなかで、自分のリズムを保ちながら上位を維持。前へ出る攻めの姿勢はそのままに、難コースでの安定感も示した。4位という結果以上に、レース全体を通して粘り強さが際立った。

最後まで踏み続けて4位

ただ、ラスト1周は前3人を捕まえるのが厳しい状況となり、沢田は4位でフィニッシュした。レース後には「ブリッツェンに入ってからワーストと言ってもいいほどのクロスカントリーになりました」と悔しさを口に出している。前日のXCCでは好結果をつかんだだけに、本人にとっては反省の残る一戦となった。そ

れでも、最後まであきらめずにペダルを踏み続けた走りは、次戦への糧となるはずだ。



Astemo宇都宮ブリッツェン ファンクラブ限定 ファン感謝祭

ブリフェス 2026

| 2026 **8.8** (sat) 12:00~14:00

| ザ・グランドスパ南大門
(3階 宴会場)



<https://www.blitzen.co.jp/news/fanclub/event-260706/>

私たちはAstemo宇都宮ブリッツェンを応援しています。

Astemo

MERIDA
miyata

カフェ

下野新聞社

Mitutoyo

NTT EAST

FOODLIER

NEX NIPPON EXPRESS

日成メディカル

足利銀行

ORES

ローラン

住めば
愉快だ
宇都宮

HONDA

この街を走る幸せを、ともに
Honda Cars 栃木中央

EKOI

作新学院

栃木信用金庫

とちぎテレビ

競馬ペナル

フクダヘルシー

株式会社 ティーツーテクニカル

仲田総業株式会社

TOCHIGISC

GOKO human link corporation

だっつやとちぎ

TCB観光

関東自動車

宇都宮食販

Uboken

くいに矯正歯科

HINO

(株)松本建設

KODAIRA ENTERPRISE

トヨタカローラ栃木

SUBARU
栃木スバル自動車株式会社

SHIMANO

BOA

株式会社 カナメ

株式会社 小野川
トランスポート

Dexerials

藤井産業

Continental Home
コンチネンタルホーム

たいしや

JB JARBIS

茶商事株式会社

多摩山不動尊

MIZUHO みずほ証券

PÂTISSERIE QUEEN

こくみん共済
coop

宇都宮塗料工業株式会社

ヤマト運輸

CDP

BREX

POBIS

Quick

CRT ハワジング

日本労働組合連合会

LOKOO 横尾製作所

Wellness

株式会社 ツカサ精密

mommyup

宇都宮中央法律事務所
UTSUNOMIYA CHUO ATTORNEYS AT LAW

栃木トヨペット

WEDGEMOUNTAIN
MTB RESORT

渡辺産業株式会社

宇都宮文化センター株式会社

UBC

Fuji Logicargo

有限会社 大草鉄工建設
OHKAWA STEEL CONSTRUCTION

素材でいっしょ
Sōkan

PRTIMES

ISHIKAWA

景観プランニング

株式会社 龍

ライオンデン

日本生命

足利電機株式会社

天昇堂

ゆめクリニック
YUME CLINIC

ホティア

住友生命

税理士法人 児玉税経

あざみ

税理士法人 あさひ

YUYU WORLD
株式会社 ユーユーワールド

井上建庫株式会社

(有) 岸銀工業所

OLEA

クレハ合繊

み陸

稲見通建株式会社

安斎重機サービス

宇都宮電機工業株式会社
UDENKO

森源

大張

三信電工株式会社

docomo

芳賀通運
HAGA EXPRESS

JA共済

ROOTS SPORTS JAPAN
ROOTSスポーツジャパン

CENTURY 21 - REAL ESTATE SERVICE
ハウスゲート株式会社

GRIM FACTORY
株式会社 グリムファクトリー

TOYOTA WOODYOU HOME

AOKI SYMTECH

松本建設 株式会社

あさふさふさ

小玉産業株式会社

Thank you for your support.

Blitzen 7